



Weekly Report

親睦と協調

佐世保北ロータリークラブ 2012～2013年度 RI 会長 / 田中作次 ガバナー / 福元裕二



会長/西川正美 幹事/中野雄一郎 例会場/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店8Fカトレアホール（毎週月曜日）
 創立/1984. 4. 16 認証/1984. 5. 14 事務局/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店内 TEL 0956-22-7144 FAX 0956-22-1201
 E-mail office@sasebonorth.org Web http://www.sasebonorth.org

【本 日】会員数44名 出席 27名 欠 席 6名 出席規定免除会員（11）出席 9名 ビジター 1名 出席率 85.71%
 【前々回】会員数44名 出席 28名 メークアップ 3名 出席規定免除会員（11）出席 9名 修正出席率 95.24%

「一年を回顧して」

西川正美 会長



ようやく1年が終わろうとしています。

今思えばこの1年長かったようで短い1年間でした。話し下手の私がよく42回の例会の会長挨拶がよくできたものだと思います、私

のつたない会長挨拶にお付き合いを頂いて本当にありがとうございました。

ロータリークラブの新入会員の勧誘パンフレットの中に、ロータリアンになれば、人前で話しが上手になります。という一節がありますがなかなか旨く話す事ができませんでした。

この1年間42回の例会を会長を引き受ける時の宮崎パスト会長と例会の時の会長挨拶の原稿は書いてやるという約束がありましたが自分で書く原稿と宮崎会員に書いてもらう原稿とはなんとなくニュアンスも違い、なかなかうまく話せませんでしたので、ほぼ私の言葉で話をさせていただきました。難しい言葉はつかわない、丁寧語、敬語はなるべく使わないなどを決めて会長挨拶をさせていただきました。

意味不明の挨拶もあったかと思います。今年度は、出だしから波乱万丈の船出でした。まだ準備の段階で幹事をお願いした中野幹事の目のアクシデント、佐賀で開催されました。会長・幹事研修会には代理に大鳥居副幹事に出席をお願いしましたし第1回目の市内8ロータリークラブ会長幹事会にも大鳥居会員に代理出席をお願いしました。また会長・幹事交代式には29回の交代式の中で初めて来賓の方の出席が、お一人もいらっしゃらずに何か寂しい交代式で前途多難の船出と思っていましたが、なるようにしかならないと割り切ってこの1年を過ごさせていただきました。7月第1日曜の鹿子前でのオープンウォーターへの出席に始まり、第1例会では松

田新入会員の入会式を最初の仕事にさせていただき、第2例会では夏の納涼例会で7月に入会していただいた松田会員と入会5ヶ月目の中村会員の歓迎会をさせていただきました。実は7月の入会会員はもう一人、吉澤会員の後任で入会いただいた小川会員がいらしたのですがこの日には間に合わず入会の歓迎会がまだでございます。7月下旬には海洋スクールが衣替えした佐世保海洋探検隊イン高島の開校式に出席し支援金の贈呈をさせていただきました。

7月末のロータリークラブの一大行事である。福元ガバナーの公式訪問の時は身内の告別式に出席の為、最初の面談だけを受け、後半の例会は副会長の富田さんをお願いをして途中で退席をさせていただきました。8月の夏の家族会では、ハウステンボス・オオクラホテルの屋外バーベキューを計画していただき沢山の会員とご家族の皆さんに参加いただきましたが、途中でスコールのような大雨に会い中断、屋内のホールに移動しての再度の仕切りなおしと、このような事はじめてのことでした。10月の職業奉仕月間には豊島会員の会社の金泉清三氏にこの道一筋の表彰を受けていただき、秋に計画しました、ご婦人の会、ハナミズキ会との合同の紅葉ツアーには新入会員のご夫人方とお子さんの参加もいただいて、盛況にツアーを開催できました。ご婦人の会のはなみずきの小旅行に平日なかなか参加がむずかしかった新入会員のご夫人方も祭日ということでお子さんも一緒に参加していただいたことがなによりでした。

参加のチャーターメンバーの方々からは創立当時を思い出すと懐かしがられました。忘年家族会には朝長佐世保市長ご夫妻にも参加を頂きハウステンボスにて開催をしていただき。新年会は宮崎有恒会員と蒲池芳明会員とお二人の還暦の祝いと村上寅雄初代会長の米寿の祝いをハウステンボス、オオクラホテルで開催させていただきました。

2月には職業奉仕委員会の皆さんに職場訪問例会を当クラブの中尾会員の佐世保高等専門学校を訪問、5年間一貫教育の良さを目のあたりに見させていただきました。3月は社会奉仕委員会の皆さんで2周年を迎える3月

〈入会以来連続100%達成者〉

26年 緒方信行君 16年 宮原明夫君

.....

《R I ニュース》

リスボンで大会が開幕

6月23日（日）にポルトガルのリスボンで開幕したロータリー国際大会では、田中作次RI会長が講演したほか、世界中から集まったロータリアンが今年度の活動の成果を祝い、新たな活動のアイデアを語り合います。本大会は26日まで開催されます。

平和の港、リスボンへ

2013年6月23日～26日、ポルトガルのリスボンにて、ロータリー国際大会が開催されます。全世界20,000人以上のロータリアンが出席する本大会のニュース、写真、ビデオをウェブサイトをご覧ください。また、ツイッターでもハッシュタグ「#ricon13」をフォローしてください。

リスボンで2013年ロータリー国際大会が開幕

2013年6月23日（日）、ポルトガルのリスボンでロータリー国際大会が開幕しました。かつての大航海時代には、世界を“発見”しようと、多くの探検家がここリスボンの港から出航しました。それから数百年の時を経た今、本国際大会のために世界各地からロータリアンとその家族や友人が集まり、大会開会の国旗入場で225の国や地域の旗が掲げられました。

田中会長による講演

「平和の港、リスボン」をテーマとする本大会のステージではこの日、平和を中心としたプログラムが行われました。本年度を通じて「奉仕を通じて平和を」と呼びかけてきた田中作次RI会長は、ラジオで昭和天皇の終戦宣言を聞いた少年時代から、ロータリーを通じて平和と奉仕の関係を意識するようになるまでを語りました。

「日本は戦争に勝つために総動員でしたが、（終戦の）あの日から、再建に向けて、つまり、平和という日本の新たなアイデンティティに向けて動き出すことになりました」

八潮ロータリー・クラブに入会して、「超我の奉仕」という理念を学んだという田中会長。「ロータリーを通じて私が理解できたこと、それは、自分が働く意味は、人々に幸せを与えるためだということです。自分の利益のためだけでなく顧客のニーズに尽くしたいと考えました。そうすることで顧客の満足につながるだけでなく、会社の従業員の生活も良くなります。私は今では、前とは異なる観点でビジネスを捉えています。ロータリーの奉仕とは、自分のクラブ内だけに限定されるものではありません。私たちが人々のために行うことはすべて、よりよい世界の実現につながります」

国際奉仕に取り組み、人々の基本的ニーズを満たすことを通じて、ロータリーは日々、平和の実現に向けて貢献していると田中会長は続けます。会長としての一年間、各地でロータリアンがさまざまな方法で平和のために貢献する様子を目にしてきたことに触れ、平和について

考えるよう参加者に促しました。「ここリスボンでの大会は、世界のあるべき姿を知る一つの機会となります。世界をより良くするために、全大陸から集まった人々が、互いの違いを越えて、真に重要なことに取り組むことができます」

その他の大会ゲスト

大会初日には、田中会長に加え、ポルトガルの社会保障相であるペドロ・モタ・ソアレス氏も講演し、平和構築やポリオ撲滅活動におけるロータリアンの貢献を称えました。「ロータリーが取り組む重要課題は、ポルトガルにとっても、またほかの国々や世界にとっても、重要な課題です。ロータリアンは私利私欲よりも、世界のためになることを優先させています。私たち政治家も、もっとこの姿勢を学ぶ必要があります」開会本会議の締めくくりには、4人組のヴォーカル・グループ「イル・ディーヴォ」がパフォーマンスを披露しました。4人とも異なる国出身（スイス、スペイン、フランス、アメリカ）のメンバーたちは、互いの違いを乗り越えて共通の目的のために協力するという点で、ロータリーと共通していると話しました。

出席したロータリアンの声

本会議に出席したロータリアンからは、平和について考える声が聞かれました。米国のロータリアン、ビル・トンプソンさん（ポートオレンジサウスデイトナ・ロータリー・クラブ所属）は、平和に重点を置いたことはとてもよかったと話します。「特に今、世界各地で紛争が続いている状況ですから、ロータリーのような組織が活動し、変化をもたらそうとしていることを心強く思いました」ジンバブエのロータリアン、アサーム・ムソンザさん（グエル・ロータリー・クラブ所属）は、闘争の絶えない母国について触れ、次のように話しました。「平和は大切なテーマです。平和とは単に村同士が争わないことだけでなく、心の平和も意味します。人々の心が平和であれば、人と争いたいとは思わないはずです」

.....

《ニコニコBOX》

松田信哉 親睦活動委員

西川正美 会長 中野雄一郎 幹事

本年度の最後の例会です。やっと西川丸が、岸に到着します。波風も立たず、無事着岸します。一年間、理事、役員の皆様、会員の皆様には、ご協力、ご支援ありがとうございました。次年度、緒方会長、横尾幹事、がんばって下さい。

村上寅雄君

西川会長、中野幹事、御苦労様でした。一年半前までは不安が一杯でしたでしょうが、今になってはもう一年くらいはやってもよいと云う心境になっているでしょうが、お疲れ様でした。

松尾辰二郎君

西川正美さん、いよいよ最後の会長卓話となりました。

(記事担当者 渡会祐二)